

平成28年度 子育て支援・少子化対策事業

1. 家庭・地域における子育て支援
2. 仕事と子育ての両立支援
3. 子どもの健やかな成長の支援
4. 次世代を担う若者への支援
5. 子育て家庭の経済的負担の軽減
6. 子育て支援の気運の醸成

1. 家庭・地域における子育て支援



① 子育て家庭に対する支援

○特別保育事業

保育所待機児童 **ゼロ**

	H22	H25	H27	H31末目標
・病児保育	57か所	⇒ 76か所	⇒ 108か所	目標達成 103か所
・延長保育	210か所	⇒ 216か所	⇒ 225か所	⇒ 231か所
・休日保育	50か所	⇒ 59か所	⇒ 69か所	⇒ 72か所

特別保育の実施や年度途中における3歳未満児の入所に対応する保育士の確保が必要なことから、潜在保育士の掘り起しに努める。

○放課後児童クラブ

	H22	H25	H27	H31末目標
・放課後クラブ	202か所	⇒ 219か所	⇒ 239か所	⇒ 259か所
・うち18時以降開所	41か所	⇒ 58か所	⇒ 82か所	目標達成 78か所

開所時間延長に必要な放課後児童クラブ指導員等の確保が必要なことから、子育て支援人材の掘り起しに努める。

平成28年度の主な施策(児童青年家庭課)

【拡】病児保育等支援事業

【拡】年度途中入所等保育士確保事業

年度途中入所児童に備えた保育士の事前雇用を支援

【新】潜在保育士の復帰支援事業

就職準備金や未就学児がいる場合の保育料等の貸付

※一定期間勤務すれば返済免除

【拡】放課後児童クラブ事業

クラブの運営や18時以降の開所等を支援



【拡】放課後児童支援員等処遇改善事業

18時30分を超えて開所するクラブの職員の処遇改善

○学生を対象とした出前講座を開催し、放課後児童クラブへのボランティア参加を促進

② 地域における子育て支援の促進

○ファミリーサポート・センター

	H22	H25	H27	H31末目標
・登録者数	1,595人	⇒ 1,598人	⇒ 1,696人	⇒ 1,800人
・設置市町村数	13市町	⇒ 13市町	⇒ 13市町	⇒ 15市町村

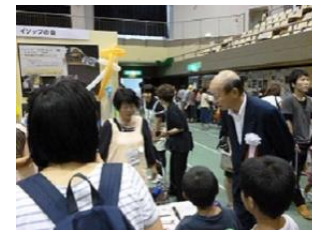
設置市町村数の拡充について、引き続き未実施の町村に働きかける。

平成28年度の主な施策(児童青年家庭課)

【拡】地域子ども・子育て支援事業

ファミリーサポート・センターや子育て支援センターの運営等を支援

- とやまっ子みらいフェスタ開催
- 子育てシニアサポート事業



1. 家庭・地域における子育て支援(2)



③安心して子育てができる生活環境の整備

○子どもの交通安全対策の推進

- ・チャイルドシートの使用率
目標指標 H25: 70.3% → H27: 69.7% → H31末目標: 極力100%

引き続き、広報啓発活動や交通指導取締り等の推進が必要

④母と子の健康づくりへの支援

○安全で安心な妊娠・出産の支援

- ・妊娠期からの継続した保健、医療等の支援体制の整備充実
- ・女性の健康・妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発
目標指標: 妊婦健診の受診率 H25: 96.5% → H27: 98.2% 目標達成 H31末目標: 97%
- 目標指標: 妊娠11週以下での妊娠届出率
H25: 91.4% → H27: 92.7% → H31末目標: 極力100%

引き続き、市町村・医療機関と連携し、目標達成に向けての普及啓発に努める。

○子どもの健やかな成長のための支援

- ・乳幼児の健康診査や保健指導の充実
目標指標: 1歳6か月児健診受診率
H25: 98.1% → H27: 98.2% → H31末目標: 98.5%
- 目標指標: 3歳児健診受診率
H25: 96.1% → H27: 97.2% 目標達成 H31末目標: 97%

引き続き、市町村や医療機関との連携強化に努める。

○障害や疾病のある子どもへの支援

- ・障害等を有する子どもの早期発見・早期療育

○周産期医療等の充実

- ・周産期医療体制の整備充実
- ・不妊症・不育症に関する
正しい理解の促進と相談体制の整備



平成28年度の主な施策

○交通安全特別対策事業(防災・危機管理課)

- チャイルドシートの取付け方に関する研修会開催、チャイルドシート普及啓発リーフレットの配布

平成28年度の主な施策(健康課)

○切れ目ない妊娠・出産包括支援推進事業

- 市町村が整備する「子育て世代包括支援センター」への支援

H27: 3市(富山市、高岡市、南砺市)

H28: 6市町予定(富山市、高岡市、南砺市、黒部市、入善町、魚津市)

【新】産前・産後ケア支援強化事業

- 産前・産後ケア推進のための検討会や研修会の開催

○妊娠・出産サポート事業(妊娠・出産悩みほっとライン)

- 妊娠・出産に関する不安、望まない妊娠等についての電話相談

○乳幼児総合相談支援ネットワーク事業

- 1歳6か月児健診や3歳児健診の結果を受け、保護者に対する相談支援等を実施

○先天性代謝異常等検査事業

○県立中央病院の整備(NICU、MFICU、小児外科)

○女性健康相談センター・不妊専門相談センター事業

○不育症治療研究事業

2. 仕事と子育ての両立支援

目標指標の動向

仕事と子育てを両立できる職場環境の整備

目標指標：一般事業主行動計画を策定し、国に届け出た企業数

H25実績：1,518社 → H27実績：1,612社 → H31目標：2,150社
小規模企業(50人以下)に対する策定支援を引き続き実施する。

目標指標：育児休業取得率

[男性]H25実績：1.0% → H27実績：3.8% → H31目標：5.0%
[女性]H25実績：96.0% → H27実績：94.9% → H31目標：98.0%
女性の育児休業取得率は目標値に近い状況だが、男性は未だ低い水準にあることから、引き続き、企業の理解と協力を促進する必要がある。

仕事と生活の調和の実現に向けた働き方の推進

目標指標：年次有給休暇取得率

H25実績：44.8% → H27実績：46.0% → H31目標：60%以上
数値は45%前後で推移しており、引き続き、企業の理解と協力を促進する必要がある。

目標指標：男女共同参画チーム・オフィサー設置事業所数

H25実績：157事業所 → H27実績：192事業所 → H31目標：230事業所
H25からH27までの2年間で35事業所増と目標値に向かって順調に増加している。

平成28年度の実施策

仕事と子育て両立支援パワーアップ推進事業(労雇)

○一般事業主行動計画策定・届出率

◆H21.6制定の条例で51～100人規模の企業にも計画策定を義務付(H23.4～) ◆H27.3の条例改正でさらに30～50人規模の企業にも計画策定を義務付(H29.4～)

従業員規模	H20	H22	H27	H31目標
101人以上	36.5%	80.0%	99.8%	100%
51～100人	13.8%	81.6%	97.7%	極力100%
30～50人	—	—	34.2%	極力100%

- 事業所内保育施設の設置促進(労雇)
(H16：27か所 → H28.4：48か所)

新 子宝モデル企業普及促進事業(労雇)

経済団体等と連携して、企業子宝率の調査・活用により、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりを促進

拡 男性の働き方改革プロジェクト事業(男女)

長時間労働の見直しや男性の家事育児参画の促進に関する出前講座、イクボス宣言企業の発信等



拡 女性の再就職パワーアップ応援事業(男女)

出産等を機に離職した女性の再就職セミナー、職場見学、キャリアコンサルティング

3. 子どもの健やかな成長の支援

(生涯学習・文化財室)

親の「学びあい」

家庭の教育力の向上

親子の「ふれあい」

〔拡〕とやま親学び推進事業

親学びプログラム47事例の活用・普及

H18～27 延べ 121,970人受講
H27:532講座 31,156人

● 小中学校での親学び講座の開催

- ・とやま親学び推進協議会の設置
- ・推進リーダーの養成と配置
- ・「親学びノート(小・中学生編)」の作成、配付

3万部配布:小1、小4、中1の親
(新)スマホの危険性等 追加



目標指標:小中学校の「親学び講座」等の実施率

H25:82.5% → H27:96.3% → H31目標:増加させる
参加者数は毎年増加しており、引き続き推進に努める。

目標指標:子供の教育において、家庭が役割を果たしていると思う人の割合

H25:33.1% → H27:36.5% → H31目標:増加させる
親学び講座の受講対象者の範囲を乳幼児期の親に拡充させる。

〔新〕● 幼保への親学び講座の拡大(モデル園開催) 「親学びノート(幼児編)」の作成、配付(3万部)

● 親学び企業内講座

H17～H27 81企業81講座 延べ3,260人受講



家庭

● 子どもの読書活動推進事業

目標指標:平日に家庭で10分以上読書をしている割合

H25:小6:67.7% → H27:小6:68.4% → H31目標:小6:70%
中3:50.0% 中3:50.4% 中3:55%

引き続き、家庭での読書の推進に努める。

● 家庭教育かわら版事業

情報紙「ほっとタイムス」を年2回発行(5万部/1回)

● 家庭教育総合相談事業

電話・メール相談、カウンセリング

目標指標:ホームページ「子育てネット!とやま」等へ小学生以下の子供を持つ家庭のアクセス割合

H25:38.2% → H27:41.2% → H31目標:上昇を目指す
引き続き見やすく魅力的なページ作りに努める。

目標指標:子育てサークル活動組織数

H25:185 → H27:198 → H31目標:増加を目指す

● 「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業(保健体育課) 「健康づくりノート」の活用、「毎日しっかり朝ごはん運動」の推進

目標指標:子供の朝食欠食率

H25:小5:0.7% → H27:小5:0.8% → H31目標:極力0%
中2:1.5% 中2:1.7%

食習慣は個々の家庭によるため、一層の啓発及び指導に努める。

幼稚園・保育所

社会教育関係団体

公民館

学校

子育てサークル

子育て支援関係者

経済団体

企業

地域の教育力の充実

● 放課後子ども教室、土曜学習 (H27 222教室)

〔新〕● 中学校放課後学習支援推進事業

希望する中学生を対象に、学習支援を実施

● 公民館での親子のふるさと自然体験等

(H20～27 延べ97,756人)

目標指標:公民館における子供の自然体験活動、ふるさと学習への参加数
H25:12,771人 → H27:11,652人 → H31目標:16,000人
公民館が連携して自然体験やふるさとの魅力を発信する。



社会全体の
「支えあい」

● 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(小中学校課)

H27 81校 参加生徒数:9,730名 受入事業所数:3,372

● 高校生のインターンシップ(県立学校課)

目標指標:県立高校生のインターンシップ等体験率
H25:71.8% → H27:73.9% → H31目標:74.0%
引き続き推進に努める。

● 学校安全パトロール隊(保健体育課)

(H17 約22,000人→H27 約37,000人)

全ての小学校区にて結成、登下校時の安全確保と指導の徹底

4. 次世代を担う若者への支援

目標指標の動向

結婚を希望する若者への支援

目標指標: とやまマリッジサポートセンター会員の成婚数

H27実績: 8組 → H31目標: 30組 ・H26.10.27 開設

市町村や関係団体等との連携を図りながら会員登録を促進する。

ライフプラン教育の推進

若い世代が、自らに合った結婚、妊娠・出産を迎えることができるよう、ライフプラン教育を効果的に推進していく。

若者の定着支援

目標指標: 新規大卒就職者の入職3年目までの離職率

H22.3卒: 29.1% → H24.3卒: 27.9% → H31目標:
全国トップクラスを維持

目標指標: 新規高卒就職者の入職3年目までの離職率

H22.3卒: 33.5% → H24.3卒: 30.0% → H31目標:
全国トップクラスを維持

目標指標: 若年者(15歳から34歳)の正規雇用率

H24: 72.9% → H31目標: 全国トップクラスを維持

平成28年度の主な施策

【新】県、市町村、マリッジサポートセンター等のネットワークの形成(地創)

【新】首都圏女子とやまde愛(出会い)応援事業(地創)

首都圏の女性を対象に富山での1泊2日のバスツアー(交流会)等を実施

【新】TOYAMAハッピーライフキャンペーン2016(地創)

若者に結婚、妊娠・出産、育児の喜びを伝達するとともに、本県の素晴らしい子育て環境をPR

【新】とやまの中・高校生ライフプラン教育充実事業(県立、小中)

富山の良さを学び自らの生き方を考えるライフプラン教育を系統的に実施

【新】とやまのしごと・くらしアピール事業(地創)

県外出身の大学生とその父母を対象に、県内企業の魅力、全国トップクラスの住みやすさをアピール

【新】とやまビジネスリサーチinJAPAN(労雇)

大都市圏の学生向けに業界研究を行う仕事研究フェアの開催、県内企業の見学を行うバスツアーの実施等

【拡】Uターン女子応援プロジェクト事業(労雇)

Uターン女子応援カフェの開催や、女子学生限定の合同企業説明会へのブース出展

【新】UIJターン転職支援事業(労雇)

転職フェアへのブース出展による首都圏でのUIJターン希望者の掘り起こし

【拡】「30歳の同窓会inとやま」(仮称)の開催(地振)

県内外の本県出身者を対象に、就職相談会を併せて実施

5. 子育て家庭の経済的負担の軽減



希望する数の子どもが持てるようにする施策

背景

◇ほしい子どもの数 (H25県調査)



	1人	2人	3人以上
理想	3.8%	34.4%	58.3%
現実	6.6%	49.8%	38.8%

◇**県民希望出生率** (H26県調査)

県民の希望がかなった場合の出生率

1.9 (全国 1.8)

合計特殊出生率 1.45との間にギャップ

◇**さらに子どもを持つに当たっての課題**

- ・ **子育てや教育にお金がかかりすぎる** 74.8%
- ・ 働きながら子育てができる環境にない 40.9%
- ・ 自分または配偶者が高年齢 22.5%

【参考】とやま未来創生戦略KPI

目標指標 「とやまっ子 子育て応援券」の利用率
(H25) 81.9% ⇒ (H27) 81.4% ⇒ (H31末目標) 90%

目標指標 多子世帯向け無利子融資件数累計
(H27) 271件 ⇒ (H31末目標) 780件

平成28年度の主な施策

○保育所、幼稚園保育料軽減 **第3子以降無料化**

(児童青年家庭課、知事政策局、小中学校課)

【**拡**】多子世帯(3人以上)向け融資の無利子化

(児童青年家庭課)

○とやまっ子 子育て応援券事業 (児童青年家庭課)

保育サービス等利用券を配付…第1・2子に1万円、第3子以降に3万円

<利用券によるサービス(例)>

有効期間 3年間

一時預かり、病児・病後児保育、母乳相談、予防接種 等
「読み聞かせ絵本(指定絵本)」の購入、フッ素塗布 (保険外診療)

○児童手当の支給(月1万円~1.5万円)(児童青年家庭課)

【**拡**】不妊治療費助成(健康課)

1回15万円×年間6回。初回に限り、15万円を上乗せ

本県では、「①通算助成回数制限なし」、「②所得制限なし」としており
全国トップクラスの助成制度となっている。(※39歳以下に限る)

○不育症治療研究事業(健康課)

○妊産婦、乳幼児医療費助成(健康課)

○産婦健康診査費の助成(健康課)

【**拡**】住みよい家づくり資金融資制度(建築住宅課)

子育て世帯の住宅取得、改修支援(上限500万円、15年以内償還)

多子同居・三世帯同居は実質無利子化

【**新**】三世帯住宅及び多子世帯住宅等に係る不

動産取得税の減免制度の拡充(税務課)

融資と税制による支援の同時実施は **全国初**

6. 子育て支援の気運の醸成



目標指標の動向

目標指標：子育てを楽しいと感じる割合

H25実績：58.8% → H31目標：増加

※調査は5年毎に実施

目標達成のため、引き続き、子育ての楽しさを伝える取組みを促進する。

社会全体で子ども・子育てを支援する意識づくり

目標指標：とやま子育て応援団の利用度

H25実績：49.4% → H27実績：50.3% → H31目標：増加



長期的に上昇傾向にあるが、目標達成にはより一層の施策の推進が必要

未就園児の保護者や祖父母など、制度のPRを十分行っていなかった層へも働きかけていく必要がある。

家族のふれあいを推進する啓発活動

平成28年度の主な施策

【新】第4子以上誕生祝い事業(児青)

- 対象：第4子以上が生まれた家庭
- 内容：広報紙での紹介や県立文化・スポーツ施設の利用パスポート配付等

【新】TOYAMAハッピーライフキャンペーン2016(地創・再掲)

- 若者に結婚、妊娠・出産、育児の喜びを伝達するとともに、本県の素晴らしい子育て環境をPR

TOYAMAハッピーライフキャンペーン2015事業後アンケートにおいて全体の約5割が今後もキャンペーン実施を希望



【新】とやま子育て応援団利用率アップ事業(地創)

- 未就園児の保護者や祖父母等へのPR
- 協賛店一覧を掲載した「とやま子育て応援団ガイドブック2017」を作成